

一般発表

気になる感染症の話

内田 里香

薬剤部

第 157 回市民健康セミナー 平成 28 年 6 月 23 日 千葉医療センター

肝臓病のお薬について詳しくなろう！～新薬と相互作用について～

大塚 恵子

薬剤部

第 6 回肝臓病教室 平成 28 年 7 月 15 日 千葉医療センター

国立病院機構所属病院における肝臓病教室についての検討

渡部 智貴¹⁾、加藤 一郎¹⁾、山谷 明正²⁾、杉浦 信之³⁾

1) 薬剤部 2) 国立病院機構本部医療部医療課 3) 千葉医療センター内科

平成 28 年度東京肝疾患患者指導研究会 平成 28 年 7 月 23 日 東京

治験薬（注射剤）の薬剤部ヒアリング時におけるチェックリストの作成

新藤 学¹⁾、平野 光枝¹⁾、加藤 一郎¹⁾

1) 薬剤部

第 46 回日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会 平成 28 年 8 月 27 日 幕張

休日など CRC 不在時に急性期疾患対象治験へのエントリーを可能にするための取り組み

平野 光枝¹⁾、板倉 史枝¹⁾、飯田 好江²⁾、塚田 美香¹⁾、日高 沙織¹⁾、斎藤 幸雄¹⁾、

加藤 一郎³⁾

1) 臨床研究部・治験管理室 2) 臨床検査科 3) 薬剤部

第 46 回日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会 平成 28 年 8 月 27 日 幕張

1 年目薬剤師の抗がん剤調製業務におけるレジメン監査に対する知識向上への試み

古林 園子¹⁾、新藤 学¹⁾、加藤 一郎¹⁾

1) 薬剤部

第 46 回日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会 平成 28 年 8 月 28 日 幕張

毎年薬価改定を視野に入れた医薬品在庫管理への取り組みと評価

本郷 知世¹⁾、古林 園子¹⁾、小沼 大祐¹⁾、加藤 一郎¹⁾

1) 薬剤部

第 46 回日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会 平成 28 年 8 月 27 日 幕張

当院における化学療法部門における最近の取り組み

小沼 大祐¹⁾、古林 園子¹⁾、新藤 学¹⁾、加藤 一郎¹⁾

1) 薬剤部

第 46 回日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会 平成 28 年 8 月 28 日 幕張

薬剤総合評価調整加算算定への取り組み

野村 理恵¹⁾、新藤 学¹⁾、加藤 一郎¹⁾

1) 薬剤部

第 46 回日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会 平成 28 年 8 月 27 日 幕張

HIV・HCV 共感染患者に対するソホスブビル・レディパスビル治療症例

内田 里香¹⁾、赤木 圭太¹⁾、渡部 智貴¹⁾、本郷 知世¹⁾、加藤 一郎¹⁾

1) 薬剤部

第 46 回日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会 平成 28 年 8 月 28 日 幕張

【シンポジウム】 HIV 診療における薬剤師の役割

内田 里香¹⁾

1) 薬剤部

第 46 回日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会 平成 28 年 8 月 28 日 幕張

「DMAT としての薬剤師の関わり～災害拠点病院指定年度の取り組み～」

佐藤 仁宣¹⁾、巻嶋 孝明¹⁾、小沼 大祐¹⁾、本郷 知世¹⁾、加藤 一郎¹⁾

1) 薬剤部

第 46 回日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会 平成 28 年 8 月 28 日 幕張

平成 28 年度診療報酬改定に伴う医薬品適正在庫管理

竹ノ内 早紀子¹⁾、本郷 知世¹⁾、新藤 学¹⁾、加藤 一郎¹⁾

1) 薬剤部

第 46 回日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会 平成 28 年 8 月 28 日 幕張

肝臓病教室の現状と薬剤師の関わり ～全国アンケートの集計結果より～

渡部 智貴¹⁾、新藤 学¹⁾、加藤 一郎¹⁾、杉浦 信之²⁾

1) 薬剤部 2) 千葉医療センター内科

第 46 回日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会 平成 28 年 8 月 27 日 幕張

病棟薬剤業務への取り組みと今後の課題～病棟における処方支援の集計と内容の検討～

保田 未奈子¹⁾、長濱 貴恵¹⁾、野村 理恵¹⁾、新藤 学¹⁾、加藤 一郎¹⁾

1) 薬剤部

第 46 回日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会 平成 28 年 8 月 27 日 幕張

「一般病棟用の重症度、医療・看護必要度」

赤木 圭太¹⁾、野村 理恵¹⁾、新藤 学¹⁾、加藤 一郎¹⁾

1) 薬剤部

第 46 回日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会 平成 28 年 8 月 28 日 幕張

「当院と地域医療とのかかわり～市民健康づくり大会を通して～」

榎本 瞳¹⁾、古川 愛美²⁾、本郷 知世¹⁾、新藤 学¹⁾、加藤 一郎¹⁾

1) 薬剤部 2) 国立研究開発法人国立国際医療研究センター薬剤部

第 46 回日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会 平成 28 年 8 月 27 日 幕張

「癌疼痛コントロールにおけるタペンタドール塩酸塩徐放錠導入の有用性」

鈴木 博晃¹⁾、佐藤 仁宣¹⁾、朝日 仁美¹⁾、米持 奈津美¹⁾、手渡 和子¹⁾、石田 琢人¹⁾、
豊田 康義¹⁾、平野 光枝²⁾、新藤 学²⁾、加藤 一郎²⁾

1) 緩和ケアチーム 2) 薬剤部

第 46 回日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会 平成 28 年 8 月 27 日 幕張

病棟薬剤業務における処方支援の端緒分析

長濱 貴恵¹⁾、保田 未奈子¹⁾、野村 理恵¹⁾、新藤 学¹⁾、加藤 一郎¹⁾

1) 薬剤部

第 46 回日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会 平成 28 年 8 月 28 日 幕張

災害拠点病院指定による当院薬剤部の取り組み

巻嶋 孝明¹⁾、佐藤 仁宣¹⁾、加藤 一郎¹⁾

1) 薬剤部

第 46 回日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会 平成 28 年 8 月 28 日 幕張

千葉医療センターにおける薬剤管理指導業務の現状と課題

宮森 彩香¹⁾、野村 理恵¹⁾、新藤 学¹⁾、加藤 一郎¹⁾

1) 薬剤部

第 46 回日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会 平成 28 年 8 月 28 日 幕張

当院の乳がん化学療法におけるペグフィルグラスチムの使用成績

山本 輝尚¹⁾、小沼 大祐¹⁾、新藤 学¹⁾、加藤 一郎¹⁾

1) 薬剤部

第 46 回日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会 平成 28 年 8 月 28 日 幕張

学生への症例提示からみる、TDM 教育と実臨床への応用

稲垣 沙緒理¹⁾、渡部 智貴¹⁾、新藤 学¹⁾、加藤 一郎¹⁾

1) 薬剤部

第 46 回日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会 平成 28 年 8 月 27 日 幕張

胃がん領域における当院の Ramucirumab (RAM) の使用状況

大塚 恵子¹⁾、古林 園子¹⁾、新藤 学¹⁾、加藤 一郎¹⁾

1) 薬剤部

第 46 回日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会 平成 28 年 8 月 28 日 幕張

ドセタキセル点滴静注用における後発品の選定について～アルコールフリー製剤への切り替え前後の副作用、有用性、調製業務への影響および経済効果に関する検討～

田中 裕子¹⁾、古林 園子¹⁾、新藤 学¹⁾、加藤 一郎¹⁾

1) 薬剤部

第 46 回日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会 平成 28 年 8 月 27 日 幕張

TDM 業務の向上を目指した病棟常駐薬剤師と TDM 担当薬剤師の連携体制の構築

～病態などの因子を考慮した処方設計実現のための取り組み～

森 美穂¹⁾、渡部 智貴¹⁾、新藤 学¹⁾、加藤 一郎¹⁾

1) 薬剤部

第 46 回日本病院薬剤師会関東ブロック学術大会 平成 28 年 8 月 27 日 幕張

「災害対策マニュアル作成における薬剤部の関わり」

佐藤 仁宣¹⁾、巻嶋 孝明¹⁾、小沼 大祐¹⁾、本郷 知世¹⁾、古林 園子¹⁾、新藤 学¹⁾、加藤 一郎¹⁾

1) 薬剤部

第 26 回日本医療薬学会年会 平成 28 年 9 月 18 日 京都

肝臓病教室の動向と薬剤師の関わり～全国の国立病院に対するアンケートの集計結果より～

渡部 智貴¹⁾、新藤 学¹⁾、加藤 一郎¹⁾、杉浦 信之²⁾

1) 薬剤部 2) 千葉医療センター内科

第 26 回日本医療薬学会年会 平成 28 年 9 月 18 日 京都

「癌性疼痛に対するタペンタドール塩酸塩徐放錠の導入および他の強オピオイドとの併用による有効性と認容性」

鈴木 博晃¹⁾、佐藤 仁宣¹⁾、朝日 仁美¹⁾、米持 奈津美¹⁾、手渡 和子¹⁾、石田 琢人¹⁾、
豊田 康義¹⁾、平野 光枝²⁾、新藤 学²⁾、加藤 一郎²⁾

1) 緩和ケアチーム 2) 薬剤部

第 26 回日本医療薬学会年会 平成 28 年 9 月 17 日 京都

国立病院における肝臓病教室についての検討

渡部 智貴¹⁾、新藤 学¹⁾、加藤 一郎¹⁾、山谷 明正²⁾、杉浦 信之³⁾

1) 薬剤部 2) 国立病院機構本部医療部医療課 3) 千葉医療センター内科

第 70 回国立病院総合医学会 平成 28 年 11 月 12 日 沖縄

薬学生病棟実務実習を通して、テーラーメイド医療の実現に寄与した一例～ESD(内視鏡的粘膜層剥離術)施行のせん妄患者へのアセスメント

稲垣 沙緒理¹⁾、渡部 智貴¹⁾、新藤 学¹⁾、加藤 一郎¹⁾

薬剤部

第 70 回国立病院総合医学会 平成 28 年 11 月 12 日 沖縄

ドセタキセルのアルコールフリー製剤への切り替え前後の評価～副作用、有用性、医療経済、調製業務おける検討～

田中 裕子¹⁾、古林 園子¹⁾、新藤 学¹⁾、加藤 一郎¹⁾

1) 薬剤部

第 70 回国立病院総合医学会 平成 28 年 11 月 12 日 沖縄

当院におけるペグフィルグラスチムの使用経験

山本 輝尚¹⁾、小沼 大祐¹⁾、新藤 学¹⁾、加藤 一郎¹⁾

1) 薬剤部

平成 28 年度千葉県乳がん研究会 平成 28 年 11 月 18 日 千葉

当院のドルテグラビル使用状況についての報告

内田 里香¹⁾、渡部 智貴¹⁾、赤木 圭太¹⁾、本郷 知世¹⁾、金田 暁²⁾

1) 薬剤部 2) 千葉医療センター消化器科

第 30 回日本エイズ学術集会・総会 平成 28 年 11 月 24 日 鹿児島

千葉医療センター紹介及び千葉市薬剤師会と今後取り組み

加藤 一郎¹⁾

1) 薬剤部

千葉市薬剤師会 平成 28 年 12 月 19 日 千葉

糖尿病療養指導士として病院から薬局へ伝えること

榎本 瞳¹⁾

1) 薬剤部

千葉市薬剤師会 平成 28 年 12 月 19 日 千葉

「当院の HIV 診療とこれからの薬薬連携について」

内田 里香¹⁾

1) 薬剤部

千葉市薬剤師会 平成 28 年 12 月 19 日 千葉

著書

後発医薬品の数量シェア9割の秘訣を探る

本郷 知世、赤木 圭太、加藤 一郎

薬剤部

月刊薬事 4月 2016April Vol.58 No.5 2016年4月1日 Page77-83

後発医薬品使用促進について

本郷 知世、加藤 一郎

薬剤部

週刊 薬事新報 第2942号 2016年5月19日 Page539-546

平成28年度診療報酬改定に伴う薬剤総合評価調整加算～当院での取り組み～

森 美穂、野村 理恵、加藤 一郎

薬剤部

週刊 薬事新報 第2954号 2016年8月11日 Page861-868

平成28年度薬価改定～1日でかわる薬の価値～

本郷 知世、加藤 一郎

薬剤部

週刊 薬事新報 第2955号 2016年8月18日 Page886-891

注射処方せんを利用したハイリスク等表示による看護必要度と安全性への貢献

小沼 大祐、赤木 圭太、加藤 一郎

薬剤部

週刊 薬事新報 第2959号 2016年9月15日 Page999-1004

地域がん診療拠点病院における、緩和ケア認定看護師と緩和薬物療法認定薬剤師による当院の「がん疼痛」への取り組み

朝日 仁美、手渡 和子（緩和ケア認定看護師）、加藤 一郎

薬剤部

週刊 薬事新報 第2967号 2016年11月10日 Page1202-1207

肝臓病教室への関わり

渡部 智貴¹⁾、加藤 一郎¹⁾、山谷 明正²⁾、杉浦 信之³⁾

1) 薬剤部 2) 国立病院機構本部医療部医療課 3) 千葉医療センター内科
週刊 薬事新報 第 2969 号 2016 年 11 月 24 日 Page1250-1256

肝臓病教室発展・連携強化に向けた取り組み

全国の国立病院機構所属病院に対するアンケート調査と考察

渡部 智貴¹⁾、新藤 学¹⁾、加藤 一郎¹⁾、杉浦 信之²⁾

1) 薬剤部 2) 千葉医療センター内科
千葉県病薬会報 第 195 号 2017 年 1 月 Page5

HIV・HCV 共感染患者に対するソホスブビル・レディパスビル治療症例

内田 里香¹⁾、赤木 圭太¹⁾、渡部 智貴¹⁾、本郷 知世¹⁾、加藤 一郎¹⁾

1) 薬剤部
千葉県病薬会報 第 195 号 2017 年 1 月 Page8

平成 28 年度診療報酬改定に伴う医薬品適正在庫管理

竹ノ内 早紀子¹⁾、本郷 知世¹⁾、新藤 学¹⁾、加藤 一郎¹⁾

1) 薬剤部
千葉県病薬会報 第 195 号 2017 年 1 月 Page14

「癌疼痛コントロールにおけるタペンタドール塩酸塩徐放錠導入の有用性」

鈴木 博晃¹⁾、佐藤 仁宣¹⁾、朝日 仁美¹⁾、米持 奈津美¹⁾、手渡 和子¹⁾、石田 琢人¹⁾、
豊田 康義¹⁾、平野 光枝²⁾、新藤 学²⁾、加藤 一郎²⁾

1) 緩和ケアチーム 2) 薬剤部
千葉県病薬会報 第 195 号 2017 年 1 月 Page20

当院における化学療法部門における最近の取り組み

小沼 大祐¹⁾、古林 園子¹⁾、新藤 学¹⁾、加藤 一郎¹⁾

1) 薬剤部
千葉県病薬会報 第 195 号 2017 年 1 月 Page25

1 年目薬剤師の抗がん剤調製業務におけるレジメン監査に対する知識向上への試み

古林 園子¹⁾、新藤 学¹⁾、加藤 一郎¹⁾

1) 薬剤部

千葉県病薬会報 第 195 号 2017 年 1 月 Page26

胃がん領域における当院の Ramucirumab (RAM) の使用状況

大塚 恵子¹⁾、古林 園子¹⁾、新藤 学¹⁾、加藤 一郎¹⁾

1) 薬剤部

千葉県病薬会報 第 195 号 2017 年 1 月 Page26

ドセタキセル点滴静注用における後発品の選定について～アルコールフリー製剤への切り替え前後の副作用、有用性、調製業務への影響および経済効果に関する検討～

田中 裕子¹⁾、古林 園子¹⁾、新藤 学¹⁾、加藤 一郎¹⁾

1) 薬剤部

千葉県病薬会報 第 195 号 2017 年 1 月 Page27

当院の乳がん化学療法におけるペグフィルグラスチムの使用成績

山本 輝尚¹⁾、小沼 大祐¹⁾、新藤 学¹⁾、加藤 一郎¹⁾

1) 薬剤部

千葉県病薬会報 第 195 号 2017 年 1 月 Page28

TDM 業務の向上を目指した病棟常駐薬剤師と TDM 担当薬剤師の連携体制の構築

～病態などの因子を考慮した処方設計実現のための取り組み～

森 美穂¹⁾、渡部 智貴¹⁾、新藤 学¹⁾、加藤 一郎¹⁾

薬剤部

千葉県病薬会報 第 195 号 2017 年 1 月 Page31

治験薬（注射剤）の薬剤部ヒアリング時におけるチェックリストの作成

新藤 学¹⁾、平野 光枝¹⁾、加藤 一郎¹⁾

1) 薬剤部

千葉県病薬会報 第 195 号 2017 年 1 月 Page33

DMAT としての薬剤師の関わり～災害拠点病院指定年度の取り組み～

佐藤 仁宣¹⁾、巻嶋 孝明¹⁾、小沼 大祐¹⁾、本郷 知世¹⁾、加藤 一郎¹⁾

1) 薬剤部

千葉県病薬会報 第 195 号 2017 年 1 月 Page35

当院と地域医療とのかかわり～市民健康づくり大会を通して～

榎本 瞳¹⁾、古川 愛美²⁾、本郷 知世¹⁾、新藤 学¹⁾、加藤 一郎¹⁾

1) 薬剤部 2) 国立研究開発法人国立国際医療研究センター薬剤部

千葉県病薬会報 第 195 号 2017 年 1 月 Page38

千葉医療センターにおける薬剤管理指導業務の現状と課題

宮森 彩香¹⁾、野村 理恵¹⁾、新藤 学¹⁾、加藤 一郎¹⁾

1) 薬剤部

千葉県病薬会報 第 195 号 2017 年 1 月 Page38

毎年薬価改定を視野に入れた医薬品在庫管理への取り組みと評価

本郷 知世¹⁾、古林 園子¹⁾、小沼 大祐¹⁾、加藤 一郎¹⁾

1) 薬剤部

千葉県病薬会報 第 195 号 2017 年 1 月 Page39

学生への症例提示からみる、TDM 教育と実臨床への応用

稲垣 沙緒理¹⁾、渡部 智貴¹⁾、新藤 学¹⁾、加藤 一郎¹⁾

1) 薬剤部

千葉県病薬会報 第 195 号 2017 年 1 月 Page40

薬剤総合評価調整加算算定への取り組み

野村 理恵¹⁾、新藤 学¹⁾、加藤 一郎¹⁾

1) 薬剤部

千葉県病薬会報 第 195 号 2017 年 1 月 Page42

一般病棟用の重症度、医療・看護必要度へ薬剤師の関わり

赤木 圭太¹⁾、野村 理恵¹⁾、新藤 学¹⁾、加藤 一郎¹⁾

1) 薬剤部

千葉県病薬会報 第 195 号 2017 年 1 月 Page42

病棟薬剤業務への取り組みと今後の課題～病棟における処方支援の集計と内容の検討～

保田 未奈子¹⁾、長濱 貴恵¹⁾、野村 理恵¹⁾、新藤 学¹⁾、加藤 一郎¹⁾

1) 薬剤部

千葉県病薬会報 第 195 号 2017 年 1 月 Page44

病棟薬剤業務における処方支援の端緒分析

長濱 貴恵¹⁾、保田 未奈子¹⁾、野村 理恵¹⁾、新藤 学¹⁾、加藤 一郎¹⁾

1) 薬剤部

千葉県病薬会報 第 195 号 2017 年 1 月 Page45

当院のH I V業務について

内田 里香、加藤 一郎

薬剤部

週刊 薬事新報 第 2975 号 2017 年 1 月 5 日 Page56-62

新規災害拠点病院指定にあたり当院薬剤部の取り組み

巻嶋 孝明、佐藤 仁宣、加藤 一郎

薬剤部

週刊 薬事新報 第 2977 号 2017 年 1 月 19 日 Page105-110

薬薬連携がつなぐ地域医療の未来

宮森 彩香、内田 里香、加藤 一郎

薬剤部

週刊 薬事新報 第 2980 号 2017 年 2 月 9 日 Page179-185

論文

国立病院機構および国立高度専門医療研究センターにおける肝臓病教室についての検討

渡部 智貴¹⁾、加藤 一郎¹⁾、山谷 明正²⁾、杉浦 信之³⁾

1) 薬剤部 2) 国立病院機構本部医療部医療課 3) 千葉医療センター内科

国立医療学会誌 Vol.71 2号 2017 Feb Page79 – Page83